

「ビーバーの大工事」

2年1組

1 単元の目標と評価規準

目標：文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違、事柄の順序など 情報と情報との関係について 理解している。	① 「読むこと」において、文章 の中の重要な語や文を考え て選び出している。 ② 「読むこと」において、文章を 読んで感じたことや分かった ことを共有している。	① すすんで大事な言葉を探しながら 読み、これまでの学習を生か して考えたことを友達と伝え合 おうとしている。

2 教材について

おわり		中																はじめ		
まとも		順序④ 巣を作る ビーバー				順序③ ダムを作るビーバー						順序② 木を運び ビーバー		順序① 木を切り倒すビーバー						話題提示
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ビーバーがダムを作るのは、あんぜんなすを作るためである。	すの入り口は、水の中にある。ビーバーはおよぎ上手。(秘密)	ダムと同じように、木と石とををつみ上げて、すを作る。	ビーバーは、みずうみのまん中にすを作る。(秘密)	水がせき止められると、内がわにみずうみがでる。	高さ二メートル、長さ四百五十メートルもある大きなダムもある。	川の水をせきとめるりっぱなダムがでる。	夕方から夜中まで、家ぞくそうでしごとをつづける。(秘密)	ふつうで五分間、長いときは十五分間も水の中にもぐっている。(秘密)	家ぞくで木をはこんでならべ、石とをそろえてしかりかためる。(秘密)	木をくわえて水の中にもぐって、ダム作りをする。(作業)	水かきのある後ろあしとオールのような形のおておよく。(秘密)	切りたおした木をかみ切り、川の方に引きずり、上手におよいではいこぶ。(作業)	あちこちで、ポプラやヤナギの木がつきつきにたおされる。	ドシン、ドシン。(木がたおれる音)	すどくて大きい歯は、まるで大工さんののみのようだ。(秘密)	すどいはやさで木をかじり、たちまち太い木がたおれる。(作業)	ガリガリ、ガリガリ。(ビーバーが木をかじる音)	ビーバーが木のみきをかじっている。	ここは、北アメリカの大きな森の中の川のほとりである。	

本教材は、ビーバーの巣作りについて、ビーバーの体の構造と機能を関連させて説明されている。「ビーバーの大工事」という題名に引き付けられ、ビーバーの「ひみつ」を見付けていくことに興味をもって読み進めることができる教材である。

3 単元計画（全8時間）

次	時	学習目標	学習活動
第一次	1	・ビーバーのひみつに興味をもつことができる。	○「これは何でしょう」クイズをする。 ○ 範読を聞く。 ○ 初めて知ったことや感想を書く。
	2	・教材文を読み、大まかな内容をつかむことができる。	○ 本文を音読する。（追い読み・一斉読み） ○ 形式段落を記入する。 ○ ビーバーがしていることを見付けて挿絵を並び替える。
第二次	3	・重要な語句に気を付けて、ビーバーの工事の内容（木を切り倒す様子）と体のひみつを読み取るができる。	○形式段落①～⑦までを音読する。 ○ビーバーが木を切り倒す様子と体のひみつ（歯やあご）を想像しながら、ダウト読みや動作化を行う。（ぐいぐいとかじる様子） ○ワークシートにひみつをまとめる。
	4 2組 本時	・重要な語句に気を付けて、ビーバーの工事の内容（木を運ぶ）と体のひみつを読み取り、説明することができる。	○形式段落⑧⑨を音読する。 ○ダウト読みやセンテンスカードを使って、ビーバーが切り倒した木を運ぶ様子を動作化したり挿絵で確認したりする。 （展開1） ○体のひみつ（後ろ足、尾）を説明する。 （展開2） ○ワークシートに書き、ペアで確認する。
	5 1組 本時	・重要な語句を見付け、ビーバーの工事の内容（ダムを作る）とビーバーのひみつを読み取り、説明することができる。	○形式段落⑩～⑬を音読する。 ○ダウト読みやセンテンスカードを使って、ダムを作る順序を確認し、動作化する。 （展開1） ○ビーバーのひみつ（5～15分間潜る・家族の行動）を説明する。 （展開2） ○ワークシートに書き、ペアで確認する。
	6	・ビーバーが作った大きさや長さを読み取ることができる。	○形式段落⑭～⑮を音読する。 ○ダウト読みやクイズをして、ダムの高さや長さを表す言葉を確認する。 ○写真や動画などを見て、具体的な長さを実感する。（学校の中で450mを歩く）
	7	・ビーバーの巣のひみつを見付けることができる。	○形式段落⑯～⑳を音読する。 ○ダウト読みやセンテンスカードを使ってダムの場所や特徴を表す言葉を確認する。 ○ダム作りの目的を本文と挿絵で確認しペアで伝え合う。（キーワード確認する）
	8	・自分のお気に入りのビーバーのひみつを友達と伝え合うことができる。	○ビーバーのひみつを振り返り、一番気に入ったひみつをワークシートに書く。 ○ペアで伝え合う。

4 全力参加のための手立て

動作化

ビーバーが木を切り倒してダムを作る過程を、本文に基づいて動作化する。

→内容理解

センテンスカードの並べ替え

センテンスカードを並べ替えることで、事例の文の正しい順序に気付く。

→文の構造の理解

5 本時の展開 (全8時間中の第5時) I 組

本時の目標: 重要な語句を見付け、ビーバーの工事の内容(ダムを作る)を読み取り、説明できる。

時間	学習活動	・指導上の工夫 ▲個別の支援	評価規準 (評価方法)
導入 3分	1 本時の学習課題をつかむ ビーバーの工事と、ひみつをせつ明しよう		
展開I 20分	2 段落⑩～⑬の音読をして、内容を確認する。(一斉読み) 3 ビーバーがしていること(ダムを作る工事)を考える。 ・センテンスカードのダウト読み ① 水の中で泳ぐ(×)→潜る(○) ・どう違うか説明する。 ② 川の底へ差し込む(○) ③ 小枝を積み上げる(○) ④ 石で飾りをする(×) →重しをする(○) ・どうしておかしいか説明する。 ⑤ どろでしっかり丸める(×) →固める(○) 4 ダムを作る手順を動作化して、ペアで確認する。	・全員で音読できるよう、読む場所を確認する。 ・キーワードの文をダウト(3つ)にして、5枚のセンテンスカードを黒板に貼る。 ▲教科書を見てもよいことにする。 【動作化】 ・ペアで意見を交流して全体で共有する。	 考えたい  伝えたい

展開2 17分	5 ビーバーのひみつを考える T:ビーバーの仕事は大したことないですね。(ゆさぶり発問) C:すごく大変な仕事です。 C:長い時間水の中にもぐっていないとできないし・・・ C:ひみつがあるからできる。 T:どんなひみつですか？ C:家族で力を合わせる。 C:長い時間もぐっていられる体。	・ゆさぶり発問で、子供の「話したい」を引き出す。 ・ペアで意見交流をし、全体で共有する。	文章中の重要な語や文を考えて選り出している。 (記述・観察)
まとめ 5分	6 学習の振り返りをする。 ・仕事と見つけたひみつをワークシートにまとめる。	・児童数名に発表させる。	

6 板書計画

★ビーバーのひみつ

石

どろ

小枝

木



川のイラスト
(動作化)

「ビーバーの大工事」
◎ビーバーの工事と、ひみつをせつ明しよう
ダムを作るじゅんばん

木をくわえたまま、水の中へもぐる。

木のどがつた方を川のそこにさしこむ。

小えだをつみ上げる。

上から石でおもしろをする。

どろでしっかりとめる。

7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。